



鬼土間で令和2年度成人式を開催

— 思い出の場所で — 令和3年1月2日

今年成人式を迎えた鬼無里地区の新成人は、中学2年生の時に、神城断層地震に遭いましたが、卒業するその日まで中学校の旧校舎を使っていた最後の生徒達でした。

鬼土間となった旧特別教室棟は、卒業式をも行った思い出深い場所。

例年活性化センターで開催される成人式を万感の思いでここ鬼土間で迎えることとなりました。



「その場所が使えるのならそこで成人式をやりたい！」
新成人たちは、昨年の夏の打合せにおいて自分たちで施設の状態を確認し、主催の公民館にお願いするなど積極的に実現に向け行動していました。

また、鬼無里の成人式はスーツで厳かにという風習が強かったのですが、「鬼無里でも、みんなで晴れ着を着たい！」という思いもありました。

コロナ禍ですべてのことが自粛される中だからこそ、やれる方向で様々なことを考えていくという公民館の方々の強い思いと重なり実現しました。

「鬼無里の眠っている振袖をお借りして、当時の思い出と共に晴れ姿を見てもらおう！」

地域の方にも関わって喜んでいただけるようなアイデアではないかと思い、鬼無里や鬼無里に関わる方に、お声がけをし主旨を伝えると快く貸していただける方が現れ、数着があっという間に集まりました。もちろん母親の振袖を着た人もいます。そのどれもが、懐かしく思い入れのある着物ばかりです。



式後、晴着姿を見てもらうと、「私達も嬉しいが、着物も喜んでよ〜。」と仰っていただいたり、「赤ちゃんの頃から知っている子が私の着物を着てくれるという、この喜びはなんとも言いようがない。」と目に涙を浮かべる方も。着付けやヘアセットも鬼無里在住の方が買って出してくれ、朝早くからの支度に間に合うように、年末も練習や準備をしていただき迎えた当日でした。

「鬼無里の底力！」

たくさんの方々に支えられた成人式、新成人達も心から感謝し、人の温かさを実感したことと思います。「これからは社会の一員として誰かの支えになれるよう日々歩いていく」との挨拶にオール鬼無里の心意気がたしかに伝わったと思います。

鬼土間を通じた人との関わりは地域の力。今後もこのように様々な形で繋がる拠り所になっていきたいですね。

(記・竹内正和)



ただいま次年度の試行活用に向けて計画中。
ご意見ご要望などありましたらお知らせください。

発行：鬼土間プロジェクト運営委員会

【鬼無里地区住民自治協議会・鬼無里観光振興会・鬼無里支所】

事務局：鬼無里地区住民自治協議会



onidoma.net



Facebook